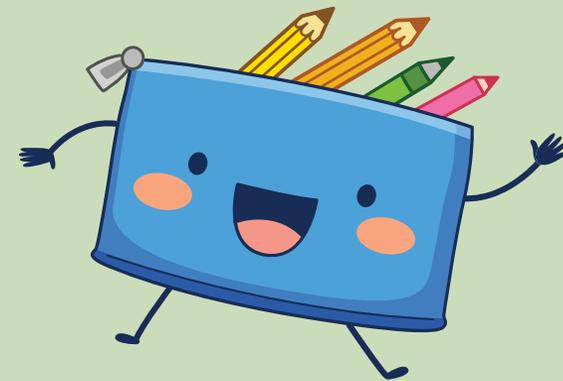




Homeについて

Home/Home=異学年集団での生活

-「よりよく生きる」ことを「みんな」でデザイン-



○ Homeにおけるデザイン

「生活」が自分（でもあり他者）のものであると自覚し、
生活の目標や道筋を自ら思考して選択することが可能な
状態を保障するカリキュラム

○Home編成について

- ・本館の18教室を使用する
- ・各教室に1～6年生を最大35人配当する
- ・令和4年度のHomeは、現各学年を18グループに分け人数に偏りが無いよう編成する
(各学年1グループ5～6人)
- ・Homeは毎年編成替えをする
- ・原則、兄弟姉妹は別Homeになるよう配慮する



2年生 太郎君

またね!

低学年総合
今年度と同じように、同じ教室で、一人の先生と活動を進めます。

さようなら

下校

Homeに登校し、朝の会、Homeでの活動を行う

おはよう!

ただいま!

Homeにもどり、給食、掃除、昼休み、帰りの会

Class①
社会
○○先生

Class②
国語
△△先生

Class③
算数
◆◆先生

Class④
英語
□□先生

Laboratory

Classのメンバーと教室を移動しながら4コマ、教科学習を行います

下校



4年生 花子さん

○ Homeの4つの理念

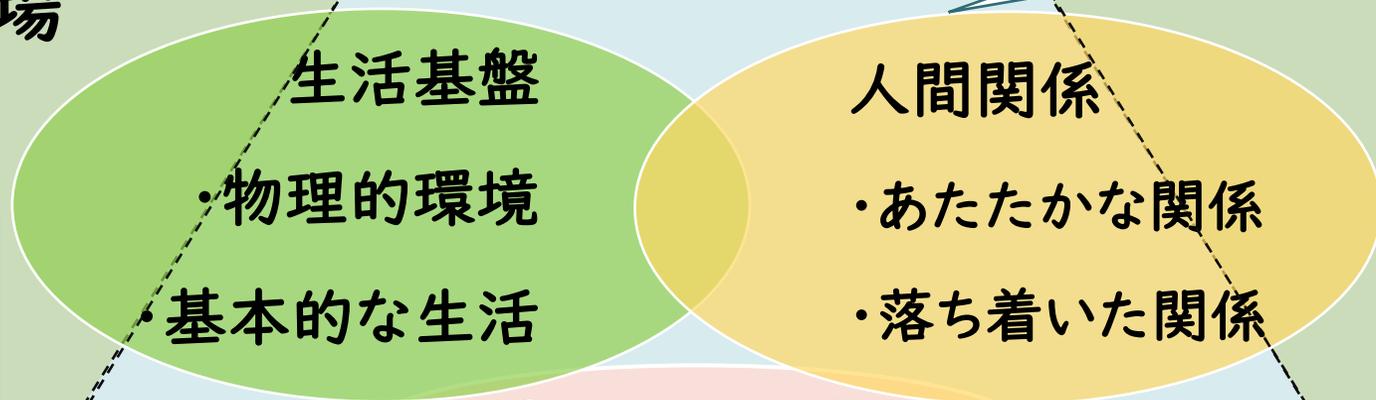
- ①生活基盤と人間関係をデザインする場
- ②穏やかな居場所
- ③小さな社会が連続する公を経験する場
- ④民主主義を経験する場

○ Homeの4つの理念

- ①生活基盤と人間関係をデザインする場
- ②穏やかな居場所
- ③小さな社会が連続する公を経験する場
- ④民主主義を経験する場



Home



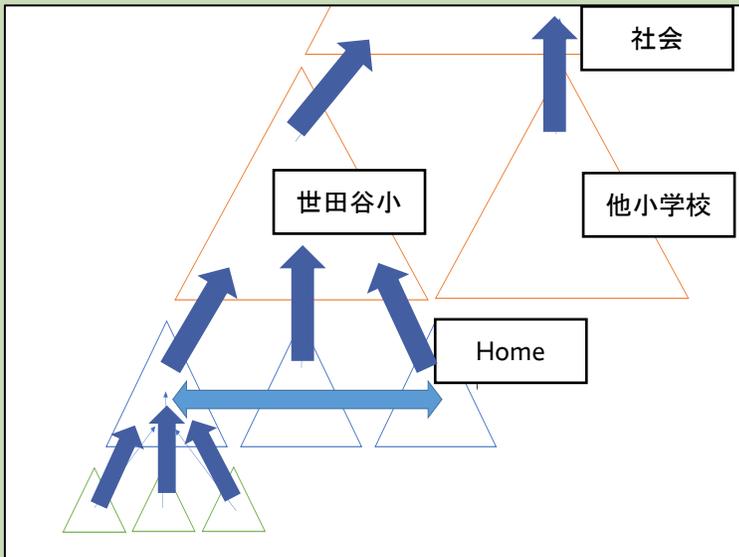
穏やかな居場所

公共性

透過性

民主主義への希求

小さな社会が連続する公を体験する



○ Homeの方向目標としての「公共性」

私的空間

自分たちにとって最適化された居心地の良い場所

公的空間

一般社会と透過性を持った社会的な場所

公共性

○ Homeの方向目標としての「公共性」

社会

世田谷小

他の小学校

Home

Home

Home

自分

他のメンバーや社会への志向性を示し、
よりよい場所を構成していこうと、
思考し、選択して「生活」を考える。

○ Homeにおける「公共性」の特徴

①公開性

- ・ Homeは、便宜上設定され、仮に所属する小集団である。
- ・ Homeは、各家庭から来た様々な子どもが集う場である。
- ・ 年齢に問わず誰でも参加することができる。

②対話的合意

- ・ Homeでは、メンバーとの対話によって合意がなされ、活動する。
- ・ 「自分にとってよいこと」が「他人にとってもよいこと」であるか対話が求められる。

③公私の接続

- ・ Homeは、私でいることと、公と認識することの双方を個人が取り込んでいる。
- ・ Homeは、社会にまで透過性をもって開かれている場として機能する。

④秩序・ルール

- ・ 教員がHomeの理念とそれを基底するルールを設定し、子どもたちと共有する。
- ・ その上で、各Homeにおけるルールは、子どもが対話によって決定する。
- ・ それらのルールは、常に教員・子どもの対話によって吟味され、更新される。

○ Homeにおいて育まれる資質・能力

(1) 「生活」の目標や道筋を自ら思考して選択する力

(2) 他者とコミュニケーションを図り, 良好な関係を構築する力

○ Homeの新規性

- ◆開かれた空間と関係において,当事者自身が対話を通して「あなたもわたしも心地よい」関係を自ら構築していく力を十分に発揮できる場となる。
- ◆既に作られた空間やルールに従うのではなく,当事者自身が対話を通して空間やルールそのものを含めて構築していく力を十分に発揮できる場となる。

○ Homeの期待される成果

- ◆ 思考や選択が、「公共性が担保された世界」を目指そうという方向目標に適ったものか、絶えず考えていく姿。
- ◆ 一般社会における「当たり前」「常識」の基準が曖昧になり、揺らいている現代社会にこそ、その「当たり前」「常識」を他者ととともに生成していく過程を保障できる。

○Home編成について

- ・本館の18教室を使用する
- ・各教室に1～6年生を最大35人配当する
- ・令和4年度のHomeは、現各学年を18グループに分け人数に偏りが無いよう編成する
(各学年1グループ5～6人)
- ・Homeは毎年編成替えをする
- ・原則、兄弟姉妹は別Homeになるよう配慮する

○Home担当について

- ・各Homeに「Home担当教員」を配置する
- ・Home担当教員がこれまでの担任業務を行う（個人面談, 生活指導, 進学指導, 成績表等）
- ・Home担当、Class担当、Laboratory担当・・・一人ひとりの子どもに関わる様々な教員が情報共有し指導にあたる
- ・現各学年教室の3Homeを担当のまとめりとし, 連携してHome運営をする
- ・6年生の進学指導は各Home担当が行う

生活の見直し



席は、どうやって座ろうか？

Homeで使っている教室は、Classの授業、Laboratoryの活動でも使うよね。多くの人を使う教室だから、どのように使っていけばいいかな。



掃除は、どうやってやる？

前は、こうしていたよ・・・？



いろいろと試しながら、いい方法を見つけていくといいんじゃない。一度決めた方法でずっと続けていかななくてもいいよね。



掃除、給食、朝の会、当番、係活動などの見直しと改善

Homeのメンバーとじっくり



音楽の時間に合奏やったんだ。Homeのみんなでもやろうよ！

朝の会で読み聞かせてくれた本を劇にするのがやりたいな

劇の中で歌ったり、楽器の演奏をしたりしたら、みんなのやりたいことができるんじゃない。

他のHomeの人達に呼び掛けて、見に来てもらおうよ

他のHomeでも劇をやっているところがあれば、一緒に発表会するのもいいよね。**Home代表者会議**で聞いてみようよ



行事について



今週の金曜日は、入学式だよ。Homeで1年生をどうお迎えしようか

全校の入学式が終わったら、Homeでもお祝いの会をしたいよね



どんなことをしてお祝いしようか



子どもたちが、自分たちで活動を作り出していくことができる時間を多く確保するために、行事は精選する。

食育・健康教育



このごろ、いそがしくて体がつかれているな～



給食ちゃんと食べている？あと早く寝ている？



つかれをためないよにするためにはどうすればいいか、みんなで考えてみよう。

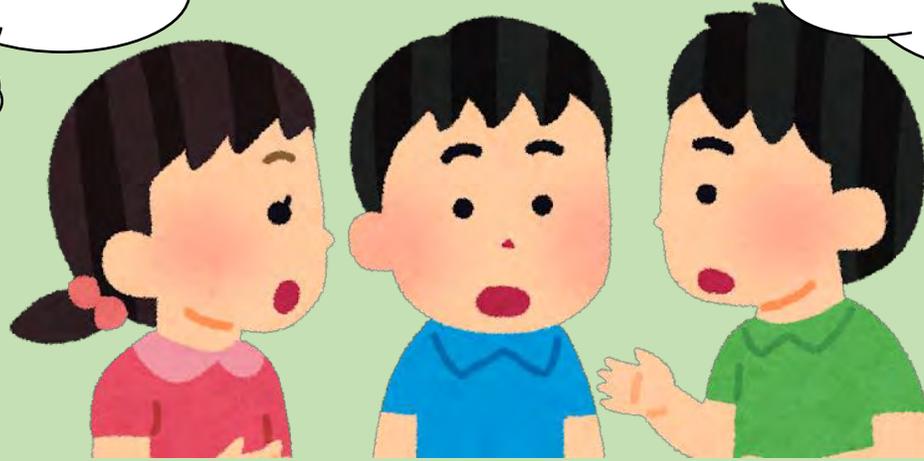
○食のマナー・ルールだけでなく、食文化、栄養など
食に関する指導を行う。

○手洗い・うがい、睡眠の大切さなど、健康指導も行う。

道徳

〇〇さんは
こう考えているんだ

1歳年下の子は、こんなこと
を考えていたんだ



多様な考えに触れることから、道徳的価値について向き合い、いかに生きるべきかを自ら考え続ける姿勢を育む。

安全指導（登下校・避難訓練等）



学校の正門を走って出ていく人がいて、心配だよ！

それは、危ないね。道路の歩き方、バス停での待ち方など、登下校の仕方をもう一度確認してみよう



登下校の仕方、避難訓練、長期休業中の過ごし方の指導など、子どもたちが安全に生活を行っていけるように指導する。